

— 消防職員被服紹介 —

活動服

災害現場・日常業務を問わずあらゆる場面で着用される服で、2024年にデザインが一新されました。

火災現場に出動する際は、この活動服の上から防火衣を着用します。



救助服

交通事故などの救助現場で着用します。

色はオレンジ色で、夜間や山間部など、視界が悪い中での活動においても視認しやすい点が最大の特徴です。

生地は耐切創性に優れており、ガラスや瓦礫等が散乱した危険な現場においても安全に活動することができます。



救急服

色はグレーで、傷病者や家族の方に清潔なイメージをもてただけるようにこの色が採用されています。

また、血液感染などから身を守るため、この服に加えてゴーグルや手袋、感染防止衣を装着して活動します。



防火衣

火災現場などの危険で過酷な現場から消防職員の身を守るため、耐熱性に優れた素材で作られています。

火災現場などでは、この防火衣とともに防火帽・防火長靴・防火防水手袋を装着して身体を保護します。

